

ようこそ鹿島神宮へ



神宮境内を無料で案内してくれるボランティアガイド。毎日9時～11時30分の受付。

ふるさとガイド
大鳥居
1 2 3 4 5 6

参拝者駐車場
大 500円
マイクロバス 300円
普通車 200円

鹿島神宮周辺の森には、かつては多くの鹿が棲息していた。その歴史を伝えるニホンジカが飼育されている。

1687年(貞享4)の『鹿島説』の跋で参宮した折り返り「此の松の天生えせし代や神の秋」を刻む。句碑は1766年(明和3)の建立。

古くからの木の湯。1日400k以上の湧水が湧出し、持ち帰ることもできる。周辺は神宮の園地になっていて、大きなみそらしごんごが名物の茶店が2軒ある。

天然記念物「鹿島神宮の森」案内板
20万坪におよぶ神宮の森は植物の宝庫。800種を超える草木が繁茂し、照葉樹林の北限としても貴重。

当神宮の社殿はその昔伊勢の神宮のよつに20年ごとに造営が行われていたが、現在の社殿は元和5年(1619)二代将軍徳川秀忠公により奉納された

「枯枝に鶴(からす)のとまりけり(あき)の暮」を刻む。

頭頂部だけがわずかに露出している雲石。鹿島神宮の大神が降臨した御座とも、地震を起こす大蛇の頭をおさえている鎮石ともいわれる。徳川光圀の『水戸黄門七徳録』には、家来に知らせてみたがあまりに巨大で「七日七夜抱っても抱りきれず」との記述がある。

鹿島神宮社務所 〒314-0031 茨城県鹿嶋市宮中2306-1 TEL 0299-82-1209
宝物館拝観料 午前9時～午後4時 大人300円 中学生以下100円